現代サッカーのトレンド　1

良いプレーは、

状況を素早く理解し、ボールが扱えること

意表をつくインスピレーションや創造力、イマジネーションを兼ね備える

ゲーム理解が高いレベルでできる

サッカー選手として

テクニック、俊敏性、持久力、インテリジェンスの向上させなくてはならない

「走れる(持久力のある)選手」であり、「スピーディーに、テクニカルに、プレーできる選手」

よりテクニカルに　よりスピーディーでタフに　フェアに　状況に応じた闘い

- モビリティのサッカー

守備では

カウンタ攻撃に対してボールの出所を抑え、リスクマネージメントをしっかり行い、カウンタをさせないディフェンス

攻撃では

しっかりした守備ブロックを崩すため、モビリティを生かしてスペースをつくり、前にボールを運び崩していく　　【人もボールも動く】

守備から攻撃への切り替え

切り替えが早く、意図的に奪い、ファストブレイク(速攻)をしかける

攻撃から守備への切り替え

同様に切り替えが早いので、ボールを失わずにポゼッションしながらダイレクトプレーをうかがうことで対応

よりテクニカルに　よりスピーディーでタフに

切り替えが早くなる中で、状況に応じた闘いができること

優れたシステムではなく　優れた個人

- テクニック・モビリティ(運動量・スピード) のサッカー

守備では

前方の選手も守備を

攻撃では

後方の選手も攻撃をしかける

攻守に

ハードワークし、質の高い【全員攻撃・全員守備】

高い位置でのポゼッション

- 中盤の高い位置で攻撃の起点

攻撃では

中盤の高い位置で攻撃の起点をつくり、相手を押し込んでポゼッションから切り崩していく

テクニックをベースに、運動量を武器にしてモビリティのある中で、高い位置でのポゼッション

守備では(攻撃でも)

ポゼッションすることで、相手の攻撃を封じ込める

状況に応じた関わり、プレー

- ゲーム理解が不可欠

ポジション

分業での闘いは難しくなってきている

スペシャリティとしてのポジション

状況に応じた関わり、プレーが求められる

攻撃では

よりテクニカルで素早く、正確な判断

ゲーム理解

遠いサイドの選手がアラートな状態

大きく素早いサイドチェンジからワンタッチで折り返し

わずかなズレや隙を突く

守備では

同サイドで囲い込み、奪いきる (はずされたとしても、逆サイドがカバー)

マークにパスが出されると素早くアプローチ

スピードに乗って崩していく

横にズレたポジションを細かく修正

攻撃のアイディアを崩壊させる不完全な守備

- カウンタをさせない素早い前線からのチェック、後方でのリスクマネージメント

攻撃では

モビリティが重要な要素

ポゼッションしながら堅固な守備を崩していく

カウンタさせない守備に素早い切り替えで、相手守備を崩すカウンタアタック

守備では

高い位置でボールを奪いカウンタをしかける

前線から誘い込んで中盤で戦略的に奪い素早くよい攻撃につなげる

効果的かつ意欲的にボールを奪い攻撃につなげる
守備をしないチームは常に危険にさらされ、攻撃のアイディアを崩壊させる

戦略的なプレッシング

- サイド攻撃

攻撃では

サイドバック、ボランチはオーバーラップを絶え間なく頻繁に行なう
サイドを切り崩し、フィニッシュまで持っていくためのクロスの精度の高まり
ピンポイントでのクロス
サイドチェンジからの素早い折り返し
シンプルでスピードに乗った鋭い崩し

守備では

戦略的なプレッシング
バイタルエリアの攻略をさせないためにボランチとセンターディフェンスの強固な連携
ゾーンマークとマンツーマンマークの使い分け

トピックス

- 攻撃

攻撃では

モビリティ(テクニカル、スピーディ)
ハードワーク(運動量、持久力)
できるだけ高い位置での攻撃の起点
ポゼッション(慌てない、失わない)
遠いサイドの選手がアラートな状態
ファストブレイク(素早いサポート、カウンタ)
サイドバック、ボランチのオーバーラップ
シュートの意識(ボックス、バイタルエリア、ミドルレンジ)

- 守備

守備では

アグレッシブな連動したプレス
ポジショニング
ゾーン、グループでの守備
ボランチとセンターディフェンスの強固な連携
個でボールを奪う能力・意識
インターセプト(そのままカウンタにつなげる)
GK と DF の連携(攻守)